



2007
平成19年

5

発行 ● 狛江市市民協働課
〒201-8585 狛江市和泉本町 1-1-5
☎ 3430-1111 FAX3430-6870
Email=wacco@city.komae.lg.jp

編集・制作 ● 特定非営利活動法人 k-press
〒201-0012 狛江市中和泉 3-2-16
プランツベルツ 201
☎ 3430-6617 FAX3430-6743
Email=wacco@k-press.net

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。お問い合わせ・ご意見は狛江市市民協働課へ

市街化で次々と姿消す橋



北谷橋 1957年 橋を渡る推見行列



北谷橋

1943年ごろ

● 写真中の数字は撮影された年

流れは次々と姿を消し、それとともに橋も役目を終えた。昭和40年代に六郷用水に下水道管が敷設され、ついで1967（昭和42）年には野川が調布市・世田谷区との境を流れるように改修されて、旧野川にも同様な工事が行われ、地上は緑地公園になった。現在、市内の橋は市境の野川、多摩川と根川に残るだけになった。

ム口もありました。下流に冬に氷を作っているところがあったんだけど、スケートをして怒られました。昭和35年ごろまでは水量も豊かで、きれいでした。ホタルやサワガニもいっぱいいましたよ。学校へは駄倉橋と和泉橋を渡っていったんです。駄倉橋はレンガ造りのすごくきれいな橋でした。橋の横には、村で一軒だけ文房具を売る店があって、教科書もそこで買いました。



2007年

エコルマ3前にある駄倉橋の親柱と説明板

ホタルやサワガニもいた田中橋、レンガ造りできれいだった駄倉橋

田中橋・駄倉橋・飯田久雄（87歳）さん、トヨ子さん（79歳）の話 田中橋は、地元では「橋場」と呼んでました。六郷用水も「橋場の川」って言ってましたね。昭和初めごろは、橋の辺りは小高くなっていて、土手沿いに木が植えてありました。うっそうとしていて子どもには夜は怖い場所でしたが、ヤマブドウやアケビなんかが生えていて、採ってきて食べました



田中橋

1964年

ね。そこだけは、当時は珍しい街灯が立っていました。昭和4年に木の橋からコンクリート製になったんですが、幅4m、長さ10mでした。水面までは4mもあって、洗い場まで作物を持って上がり下りするのがたいへんでした。下流で水が必要なときは深さかひざぐらいまであったけど、秋から冬は根川の水とわき水だけで流れも細かったですね。橋の近くには用水の洗い場と、八百屋と花屋があったり、花を入れておく



2007年

六郷さくら通りの田中橋交差点とその近くに保存されている田中橋の親柱（左）

北多摩郡でいちばん早くコンクリート製になった一の橋

曾我宗一さん（85歳）の話 ウチは祖父の代から橋の横でよす屋をやっていました。昔は一の橋は石の橋で、二の橋は木の橋で、ウチの屋号は石橋というんですが、二の橋の横にあったよす屋の屋号は板橋と言ってました。新一の橋は、世田谷通りが造られたときに架けられて、バスも通るようになり、人通りも増えました。その後、軍需工場ができたときに、湘南の橋が造られまし

一の橋交差点付近の石橋供養塔



昭和7年ごろの主な川・用水と橋

富士山や丹沢がきれいに見えた御台橋

鈴木茂男さん（80歳）の話 御台橋は、昔は「五代橋」と書いたんです。野川も「大川」と呼びました。小学生のころ、橋からすごくきれいに富士山や丹沢が見えました。学校へ行くのにこの橋を通るんだけど、ガキ大将が通せん



御台橋の親柱

ぼをしていて、しかたなく上流の大橋まで遠回りしたこともありましてね。川と道の間は草が茂っていて境がわかりづらくて、よく人

や車が落ちました。大川から田や畑に水を引いたくさんの支流が出ていて、家の周りに小さな橋がたくさんありました。

た。明治23年生まれの父が若いとき、一の橋を石橋からコンクリートに改修するのを手伝ったんですが、コンクリート製の橋は北多摩郡ではいちばん早かったと聞いてます。いまある石橋供養塔はウチの父が屋根をつけたり、花を飾ったりして、守っていたんです。この橋は六郷用水がなくなるまで使われましたが、橋の幅が3



2007年

一の橋交差点付近の世田谷通り。右側を六郷用水が流れていた



岩戸橋

1960年



丸山橋

1970年



御台橋

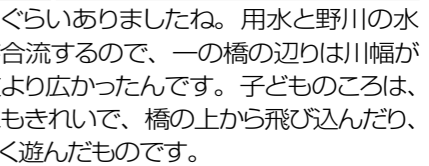
1970年ごろ

橋から野川の下流を見る



一の橋

1971年



二の橋

1963年ごろ



新一の橋

1971年ごろ

野川のはんらんに悩まされ、商品が飾れなかった御台橋

浜本玄房さん（66歳）の話 昭和37年に勤めていた会社が御台橋の横に出した店をまかされたんです。2年後に独立したんですが、当時は前の松原通りが砂利道でした。東京オリンピックの時に舗装されました。よく野川の水があふれるんで、商品の電化製品をすぐ上げられるようにしていました。ただ、当時の花形商品だった冷蔵庫は重くて持ち上げられないので、店には飾りませんでした。雨が降る度に気が気じゃなかったですよ。41年の野川の大洪水のときには床上まで浸水したんですけど、なかなか水が引かなくて、近くの人にはバスを降りてから家まではだしになって苦労して帰ったんです。



2007年

御台橋付近の松原通り

写真提供 = 玉泉寺、谷田部公司さん、小川利幸さん、田代實さん（故人） 資料 = 『狛江市の民俗Ⅳ』（狛江市教育委員会）取材協力 = 曾我宗一さん、飯田久雄さん、飯田トヨ子さん、鈴木茂男さん、浜本玄房さん（順不同）